

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信 2009

No.4 (通巻57号) 2010.2.20発行

- 目次 総会開催のお知らせ／市民文化講演会2010／阿賀野市所蔵 近現代美術作品展Ⅱ 1
10月～12月の博物館＆友の会行事報告 2
会員の研究ノート 3
第12回研究発表会／会員随想／友の会サークル「白河荘を歩く会」／友の会伝言板／編集後記 4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL0250-68-1200 FAX0250-68-5016 web版友の会通信<http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html

E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

平成22年度 吉田東伍記念博物館友の会

総会開催のお知らせ

期日 4月17日(土)

時間 13:00～

会場 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 研修室

議題

平成21年度事業報告、平成21年度決算報告、
平成22年度事業計画(案)、平成22年度予算(案)、
役員改選、その他

『世阿弥十六部集』発刊から101年！

市民文化講演会 2010 「佐渡の能楽と能舞台」

昨年、平成21年の吉田東伍『世阿弥十六部集』発刊100周年を契機に、友の会では吉田東伍と世阿弥、そして能楽の世界を学んでいます。平成22年度は『佐渡能楽史序説－現存能舞台三五棟－』（共著、高志書院）を著されている池田哲夫先生を講師にお迎えして市民文化講演会を開催します。

日 時：4月17日(土) 14:00～16:00(友の会総会終了後)

会 場：阿賀野市立吉田東伍記念博物館 研修室

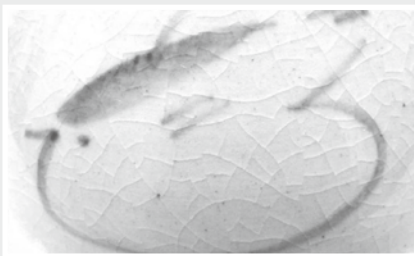
講 師：池田哲夫氏(新潟大学人文学部教授)

参加費：友の会会員は無料。会員以外は博物館入館料が必要です。

申し込み：資料準備の都合上、4月15日(木)までに友の会事務局(博物館内)へ電話・FAX・メールでお申し込みください。

講師略歴／佐渡出身。新潟大学人文学部教授。博士(文学)。主な著書・論文に『佐渡島の民俗』(高志書院)、『近代の漁撈技術と民俗』(吉川弘文館)ほか。

阿賀野市立吉田東伍記念博物館研修室で 3月14日(日)まで好評開催中！



阿賀野市所蔵 近現代美術作品展Ⅱ

—越佐余情—

阿賀野市出身の愛郷の陶芸家 田村吾川の仕事

2009年秋に亡くなられた阿賀野市(旧安田町)出身の陶芸家・田村吾川(たむらごせん)の作品展を開催中。展示空間に広がる多彩な作品の数々は圧巻です。

入館料：一般300円(通常入館料のみ、友の会会員は無料)



直江兼続から バッハ・ヘンデル・ハイドンまで

大河ドラマ「天地人」の時代に関する企画展から、メモリアルイヤーの作曲家ヘンデル（没後250年）とハイドン（没後200年）、そしてバッハの音楽まで、洋の東西を問わない多種多様な催しを開催しました。



会場風景
奥は「川中島合戦図屏風」(複製)の特設展示

10月20日(土)～11月15日(日)

特別企画展「天地人と揚北」^{あがきた}

ドラマではあまり描かれていない、揚北（現在の阿賀野市域も含む、阿賀野川以北の地域）の武将たちの活動を新潟県立歴史博物館移動展覧会として紹介。「大見安田氏文書」「大見水原氏文書」（国重要文化財）を約400年ぶりに地元で公開しました。10月25日(日)には新潟県立歴史博物館の前嶋敏氏を講師に講演会「越後文書宝翰集にみる揚北」を、10月31日(土)には体験イベント「戦国武将の花押を作ろう」を開催。友の会も会場係や講演会のスタッフとして協力しました。

講演会&シンポジウム 11月7日(土)

「室町・戦国時代の揚北と上杉氏」

講師の森田真一氏（群馬県立歴史博物館）は、『笹神村史』通史編「第4章 戦国の動乱」の執筆者。『笹神村史』の内容さながらの実証的でシャープな語り口で、越後と京都の上杉氏の動向から揚北の中世史に迫りました。

森田真一氏（撮影は友の会会員・百都政弘さん）▶



11月9日(月) 秋の研修旅行

博物館めぐり ～米沢市上杉博物館

「米沢 愛と義のまち 天地人博2009」～

参加者29人。博物館の天地人コレクション「江戸幕府と兼続」は、ドラマにも登場した本多政重が取り上げられ、「ブーム」とは一線を画した誠実な展示内容。米沢のまちに残る地名や墓碑銘など、随所に「越後」を感じることができ、越後の人びとが心血を注いだ400年前のまちづくりに思いをはせました。

◀上杉鷹山の銅像前で(米沢城址)

12月19日(土)

TOGO Museum Ensemble 第11回演奏会

～メモリアルな作曲家たち～

平成21年12月30日付「新潟日報」窓欄で「満ち足りた時」と評された恒例のコンサート。博物館2階の研修室にチェンバロを持ち込んでバロックの響きを再現しました。

メンデルゾーン（生誕200年）が蘇演したバッハ「マタイ受難曲」よりアリアを演奏▶

「越後過去名簿」にみる白河荘の人びと

会員 田 中 洋 史 (たなか ひろし)

「越後過去名簿」は、紀州高野山（和歌山県）の塔頭の一つである清浄心院に伝わる戦国時代の越後の人びとが依頼した供養の受付簿です。『新潟県立歴史博物館研究紀要』第9号（2008年）所収の山本隆志氏による史料紹介「高野山清浄心院「越後過去名簿」（写本）」で翻刻。越後全域に及ぶ記載内容からは人物・地域に関する膨大な情報を得ることができ、研究史を塗り替える新知見も含んだ史料として注目を集めています。

下表は、「越後過去名簿」の中から、白河荘関係の

記載を年月日順に抜き出したものです。今につながる地名・人名が散見。『水原町編年史』『安田町史』『笹神村史』等で紹介されている大見安田氏・水原氏文書（「越後文書宝翰集」）や斎藤家文書といった既知の中世文書と比較・検討し、戦国時代の白河荘の様相を総合的に探求していくことが今後の課題です。

平成20年1月の第11回研究発表会、及びサークル「白河荘を歩く会」で、友の会会員の皆さんから様々なご指摘をいただいておりますが、更なるご教示を願って拙表を掲載します。

No.	記載年月日	住 所	供養者・供養依頼者	戒名
1	永正6年4月29日	水原	クス川源右衛門内義立	高龍
2	永正14年2月18日	水原	クス川源右衛門立	紫春浄琳
3	永正14年3月18日	白川庄下条山口ノ村	長楽寺タンナ 長田左近将ケン	理芳
4	永正14年6月20日	山浦	巖勝寺	明僧
6	永正16年7月5日	白川庄水原	吉澤孫四郎	道円
5	永正15年7月6日	白川水原内	小嶋二郎兵衛内方	妙宣
7	永正17年8月12日	白川庄水原下条	長田将監親志	道円
8	永正17年10月23日	下条山口	長田将監	善仙
9	永正18年2月19日	白川新町	惣衛門法花寺	重薫
10	大永2年12月8日	水原下条	長田庄源内方	院中
11	大永4年8月15日	水原	小使弥藤兵衛家中	妙高
12	大永5年5月17日	ホリコシ	清畔ウチ	寶山
13	大永5年11月21日	水原大ヤチ	片山七良左衛門	善真
14	大永5年11月21日	水原中町	孫左衛門	性宝
15	大永7年5月7日	白川庄堀越	太田内義	明壽
16	大永7年6月7日	白川堀越内	太田新兵衛	宝山
17	大永8年4月6日	下条山口	四良左衛門立	妙西
18	大永8年4月6日	下条山口	同(四良左衛門)内方	道慶
19	大永8年4月6日	水原	七良右衛門家中立	妙清
20	大永8年4月6日	水原	松村三良左衛門家中立	妙忠
21	大永8年4月6日	水原	松村三良左衛門立之	道清
22	大永8年4月6日	水原	孫右衛門内義立	妙心
23	大永8年4月6日	水原下条	タケ田左衛門立	道恵
24	大永8年4月6日	水原フナイ	タツワカ立之	妙栄
25	大永8年4月16日	水原	□村惣左衛門家中立	喜慶
26	享祿4年5月10日	水原下条	長田入道	浄角貴室
27	享祿4年9月9日	水原	北野宮寺 晃栄	権大僧都 晃海和尚位
28	享祿 7月15日	白川山口	長田入道トノ立之	貴室
29	天文2年8月17日	(水原)	水原トノノ上ノ御服タメ立之	妙性
30	天文4年10月2日	水原之内切尾	道祐	道円
31	天文5年5月23日		水原トノ	等巖成公
32	天文6年8月15日		水原殿内上	真松尼
33	天文10年6月2日	白川庄安田	安田西ノ上サマ	玉芳
34	天文10年6月4日	白川安田	安田弥大良様	徳蔵

No.	記載年月日	住 所	供養者・供養依頼者	戒名
35	天文10年6月14日	白川水原	山上玄番立之	常間 和 叟間公
36	天文11年2月4日	安田内	覚仙坊立之	燐順大法
37	天文11年3月4日	(ホリコシ)		妙円
38	天文11年3月21日	安田ホリコシ	山之坊立之	権少僧都 理蔵
39	天文11年4月8日	白河ノホリコシ住	大田将監	呵庭正玄
40	天文11年6月29日	ホリコシ		呵庭正玄
41	天文11年8月3日	白河庄	八条憲繁	雲高居士
42	天文13年2月5日	安田	石間弾正立之	昌山繁公
43	天文13年6月1日	カンハラ白河庄 安田タナヘ	清左衛門内方	芳莫
44	天文13年6月1日	白河庄 洲走	小野トノ立之	道宣
45	天文13年6月1日	白河庄ホリコシ住	大田将監内方	妙栄
46	天文13年12月17日	白河ヤスタノ内	渡辺	銀叟金公
47	天文14年3月21日	安田之内	石間ヨリ立之	住林澤山 比兵
48	天文14年5月15日	白河庄	ウチタケン物	正春
49	天文14年5月21日	白河堀コシ内里	蔵嶋	妙清
50	天文14年9月27日	白河庄安田	高山平衛門内	花清林公
51	天文17年3月20日	安田	太上六良老母立之	長永
52	天文17年10月4日	白川ヤスタ之内	神田彦兵衛	溪泉音公
53	天文18年5月3日	白川ヤスタ	箕幡田左京亮	田岸道泉
54	天文18年5月3日	白河安田	ソメや新兵衛	道本
55	天文18年5月6日	白川ヤスタ	ハタナヘ 八良左衛門	明永
56	天文20年6月吉日	白川庄安田	圓藤豊兵衛内方	祐績
57	天文20年8月日	白川庄安田之内		常信
58	永祿元年5月2日	白河安田	渡辺源左衛門タメ	浄安禅定 門
59	永祿元年12月13日	エチコ安田	渡辺源左衛門内方立之	妙善禅定 尼
60	永祿元年12月13日	白河之庄安田郷	渡辺六郎左衛門尉内方	明永
61	(年月日欠)	白川庄堀越	蔵五父母タメ	鑒清生厨 尼
62	(年月日欠)	安田	大聖院	権大僧都 弘泉

※1 戒名の下線は逆修(生前供養)を表します。

※2 取り次ぎ寺院の記載のあるNoは下記の通りです。

大聖院(No.33・34・46・58～60)、大正院(No.45)、泉柳院(No.51)、善寿院(No.56・57)

発表テーマ:新潟県北部の旧石器文化

発表者:小 林 弘さん(友の会会員)

日 時 / 3月21日(日) 13:30~15:30

会 場 / 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 研修室

定 員 / 40人(資料準備の都合上、事前の申し込みをお願いします)

参 加 費 / 友の会会員は無料。会員以外は入館料が必要です

申し込み / 友の会事務局へ電話・FAX・メールで

会 員 随 想 自 己 紹 介

会員 小 林 弘

昭和36年1月30日生まれ。新発田市在住。工業高校卒業後、新潟市内の会社に勤務。

幼い頃、親が読んでくれた本に、虹の出る場所を掘ると宝物が出るという話があった。それを本気で信じて、雨上がりの虹が出たある日、近所の友達数人とスコップを持ち、虹を追いかけた記憶がある。晴れると虹は自然に消滅し宝物は見できなかった。考古学との出会いはここからのである。小学校時代に生徒に配布された『ふるさとしばた』という本に、新発田市の「加地城の山頂から焼米が出土」の記載がされていた。その米粒を探しに行こうと考え、それからさらに考古学に興味を持つようになり、はっきりした場所も分からないのに、友だちと歩いて行った。途中で喉が渇き、飲み水を貰いに立ちよったガソリンスタンドで、注意され引き戻された思い出がある。それでも行きたくて何度か挑戦したが場所が分からず、中学校3年の時にやっと麓の村に自転車で行く事が出来た。山頂で採集した米粒を文化祭に出しみんなに自慢

した。中学校時代に初めて旧豊浦村のゴルフ場造成工事の際に調査された古代の須恵器窯跡の調査に友だちと二人で自転車に乗って参加、夏のとても暑い作業だったが情熱で眼を輝かせていた。高校生になり、学校が終わると中学校時代の同級生と毎日のように自転車で新発田周辺の遺跡を歩いて、在野の考古学研究に没頭する。その後、長岡の故人になられたがやはり「在野」の中村孝三郎氏の活躍に共感を覚え、1人で遺跡踏査をするようになり仕事が休みの時には朝早くから、夕方まで遺跡のありそうな場所を歩いた。出先の親切な人に沢山出会い、知り合った諸先生方の自宅や仕事場に毎日のようにお邪魔して、考古学の事について色々教わり知識をいただいた。これまでに、関川村や新発田市、阿賀町などで旧石器時代~中世の遺跡を多数発見。現在、新潟県北部の史跡全般について興味を持ち、ブログを通じ、自己研鑽している。他に登山の趣味がある。

友の会サークル 白河荘を歩く会

4月例会のご案内

~安田城跡・沢田堤を歩く~

4月例会は手弁当を携えて、現地歩きと毎年恒例のお花見です。

日 時 / 4月15日(木) 10:00~14:00

集合場所 / 阿賀野市立吉田東伍記念博物館

そ の 他 / 昼食を持参して下さい。資料準備の都合上、参加ご希望の方は3日前までに友の会事務局へお申し込み下さい。

編 集 後 記

久しぶりの大雪に驚いた会員の皆さんも多いのではないのでしょうか。編集自宅の駐車場も雪で埋まり、あえなく運転を断念。でも、ご近所と雪掻き中に声を掛け合ったり、雪道を歩いてすれ違う時に言葉を交わしたりと、最近忘れていた雪国ならではのコミュニケーションに何だか心がホッとしている自分もいます。雪景色の博物館。展示会と研究発表会の会場で一足早く談論に花を咲かせてみませんか。(H・T)

□友の会伝言板 事務局より

- ①「阿賀野市出身の愛郷の陶芸家 田村吾川の壮事」展会期中の土・日・祝日の会場スタッフ(ボランティア)を募集しています。詳しくは事務局へお問い合わせください。
- ②新潟県立歴史博物館で開催中(3月22日まで、入場無料)の「発掘が語る新潟の歴史2009」に阿賀野市域の山口遺跡(弥生時代前半の小集落)と三辺稻荷遺跡(弥生時代前期の住居と平安時代の川辺集落)の遺物が展示されています。
- ③「友の会通信」前号の特別寄稿「『小惑星・吉田』誕生の経緯」(新潟天文研究会・畑山和也(はたやまかずや)氏執筆)で紹介された「小惑星・吉田」の天体写真がこのほど新潟天文研究会より寄贈され、館内のワークスペースに掲示されました。命名者の畑山さんが、肉眼では観ることのできない「小惑星・吉田」を特殊な高感度カメラと望遠鏡で撮影したものです。
- ④友の会行事やサークル活動など情報満載の「web版友の会通信」(<http://wind.ap.teacup.com/togo/>)をご覧ください。